

第1学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 たし算(1) (全体時間8時間)

コンテンツ名 「あわせてなんにん」(S01.mpg)

第1学年 実施時期 1学期6月

単元目標

- 【関心・意欲・態度】 ・たし算が用いられる場面に興味をもち、たし算の式に表せるよさを知り、進んでたし算を用いようとする。
- 【数学的な考え方】 ・具体的な操作活動を通して、たし算の計算の仕方について考える。
 - ・合併や増加の場面を、同じたし算と考えることができる。
- 【表現・処理】 ・合併や増加の場面をたし算の式に立式し、 $(1\text{位数}) + (1\text{位数}) = (10\text{以下の数})$ の計算をすることができる。
- 【知識・理解】 ・たし算が用いられる場面、たし算の記号屋敷の読み方、かき方、計算のしかたを理解する。

本時の目標と展開(全8時間 本時はそ5時間目)

内容	目標
・あわせていくつ(2)	・数図ブロックを操作し、合併の場面を理解しようとする。(関心・意欲・態度) ・合併の場面をたし算の式で表し、答えを求めることができる。(表現・処理) ・1位数+1位数の加法について、計算の仕方を理解している。(知識・理解)
・ふえるといくつ(2)	・数図ブロックを操作し、増加の場面を理解しようとする。(関心・意欲・態度) ・増加の場面をたし算の式で表し、答えを求めることができる。(表現・処理) ・1位数+1位数の加法について、計算の仕方を理解している。(知識・理解)
・問題作り(1)(本時)	・数量の関係に着目して、たし算の用いられる場面を判断することができる。 (数学的な考え方) ・たし算の問いかけの文を場面に応じて使い分けることができる。(知識・理解)
・反復練習(たし算のカード) (2)	・1位数と1位数の加法の計算が確実にできる。(表現・処理)
・おさらい(1)	

学 習 活 動

(1) デジタルコンテンツを見て、「あわせていくつ」と「ふえるとなんにん」の問題をそれぞれ作る。

T「絵を見てお話づくりをしましょう。」(音なし 7秒)

T「続きはどんなお話になるでしょう。」(音なし 13秒)



T「続きのお話を考えます。何という言葉があるとたしざんの問題になる
でしょう。」(音なし 18秒)

S「ふえると何人でしょう。」

T「次の画面を見て、お話を作りましょう。」

S「男の子が金魚を2匹水槽に入れてます。」

S「女の子が金魚を水槽に3匹入れてます。」

S「あわせて何匹でしょう。」



- 子どもたちのイメージがしやすいようにデジタルコンテンツを細かく止めていく。(音なし)
- デジタルコンテンツを見ることで順序立てて場面を把握させて、問いかけの文章の違い(合併と増加)に気付かせる。

(2)教科書の絵を見て、たし算の文章問題を作る。

T「絵を見ましょう。絵を見てどんなことがわかりますか。」

S「子どもが3人ブランコで遊んでいるよ。」

S「子どもが2人来ました。」

S「青い自転車が3台、赤い自転車が2台あるよ。」

- 絵を見て自由に発表させ、それぞれの数や数の単位について目を向けさせるようにさせる。

T「みんなの気づいたことをもとに、たし算の問題をつくりましょう。」

T「問題を作った後、自分の作った問題にたし算の問題かどうかわかる言葉が入っているか確かめましょう。」

T「自分の作った問題の式と答えを考えましょう。」

- 途中で行き詰まった場合は、「デジタルコンテンツを見ながら作った問題文」と「絵を見て自分で作った問題文」とを比較させる。

(3)作った問題を発表し、「3+2」の式になるかみんなで考える。

T「問題を聞いて、式と答えを考えましょう。」

S「赤い花が3本、黄色い花が2本あります。全部で何本でしょう。」

T「式と答えはどうなりますか。」

S「 $3+2=5$ 答え5本です。」

S「男の子が3人、女の子が2人います。みんなで何人でしょう。」

T「式と答えはどうなりますか。」

S「 $3+2=5$ 答え5人です。」

- 問いかけの文章が的確に書いているか考えさせる。
- 数式に表すことができるか考えさせる。

(4)本時のまとめをする。

- デジタルコンテンツの画面を再度みて、たし算の文章問題のキーワードを自分の作った問題に書いているか確かめる。

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

あわせてなんにん？ http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#01